

岩見沢での白菜まずまずの出来上がり



【岩見沢】ハクサイの生産量が全道一の岩見沢で収穫が始まっている。今年も高温などの影響で例年より1〜2週間ほど早く収穫が始まっているが、出荷は「まずまず」といわれている。

ハクサイ丸々 出来まずまず

岩見沢で収穫始まる

【岩見沢】ハクサイの生産量が全道一の岩見沢で収穫が始まっている。今年も高温などの影響で例年より1〜2週間ほど早く収穫が始まっているが、出荷は「まずまず」といわれている。

▲ハクサイの収穫作業、手際よく段ボールに詰め込む。 (阿部裕貴撮影)

ごみ処分悩む夕張市

【夕張】市が、ごみ処分問題を頭を悩ませている。一般ごみは焼却ではなく埋め立て方式で、2033年10月に容量の期限を迎える。資源ごみのリサイクルセンターは、建物の老朽化が進んでいる。市は近隣自治体の広域処理の可能性も見据えつつ、最善の処理方法の模索に力を入れていく方針だ。

限界迫る埋め立て地、リサイクルセンター

「最善の方法、市民と模索」

真谷地リサイクルセンターは1967年の建設。建物の耐用年数は25年といわれ、既に28年経過している。市民課に「一緒に考えていく必要がある。市として修繕など、小規模な修繕は行っている」とし、厚谷市長は8日の市議会一般質問で「当面はこの施設を活用していく方針だ」と述べた。



富野じん芥埋立処分地。埋め立てのため、無数のカラスが飛び回っている

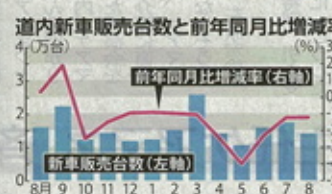
道内新車販売が低迷

11カ月連続前年下回る

道内で新車販売の低迷が長期化している。昨年10月の消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動に加え、新型コロナウイルスの影響でディーラーへの来店客が急減。販売台数は8月まで11カ月連続で前年同月を下回った。

消費増税やコロナ影響

日本自動車販売協会連合会(東証)によると、道内の軽乗用車を含む新車販売台数は、増税前の昨年10月は同25.0%減の約1万2000台に下落した。



知事「後ろ盾」トップへ

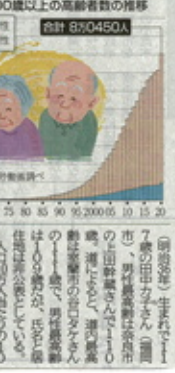
国政とのパイプより太く

新首相就任が確実となった改選後、菅義偉官房長官は、鈴木直道知事の「後ろ盾」となってきた。菅氏は夕張市パイプがより太くなる一方、道政に対する菅氏の影響力の増大を懸念する声もある。



菅義偉(左)と知事鈴木直道(右)が記者会見で話している様子。

100歳以上 8万人突破



【旭川】旭川市の人口動態は、高齢化が進んでいる。100歳以上の高齢者数は、2019年10月1日現在、8万4504人となった。

自民新総裁に菅氏

農業対策望む声

菅義偉が自民党総裁に就任した。菅氏は農業政策に力を入れる意向を示している。岩見沢市議員の小西は、菅氏に農業政策の充実を求めた。